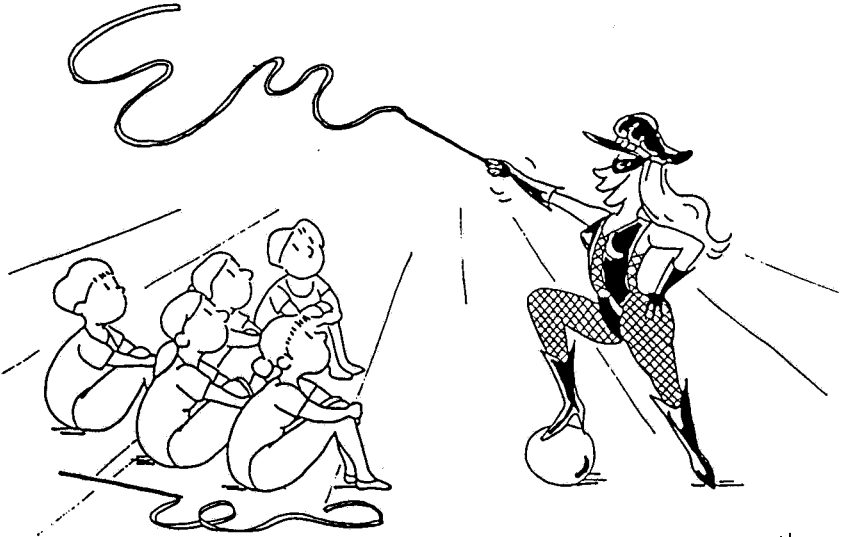




一方通信 あ〜コリャコリャ
編集人：神田邦好 (K)
(アトリエ・トロ)
編集人：中島敏晴 (N)
(アトリエ バームウィンド)
発行所：〒188-0011
東京都田無市本町3-9-18
TEL/FAX0424-62-8883



「出張指導」

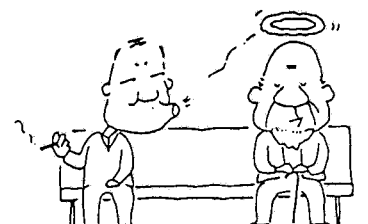
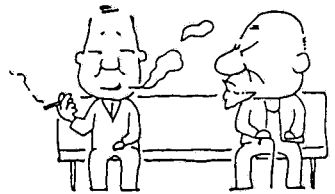


最近元氣のないこの時勢、だからというわけではありませんが、遅れに遅れた第6号の一方通信です。これはひとえにN君のせいです。(景気のせい、ふんっ！)

さて『笑いの治療力』The humor healing of power(アレン・クライン著)という本に次のようなことが書いてありました。『一國の宰相たるもの、ユーモアのひとつも言えない、解せないようでは国民との距離は縮まらない。それはたぶん頭につけているボマードでコテコテに固まった脳みそのせいだろう。そのため、行うべき政策や指導力においての発想や柔軟性などはとても望むべくもなく、いわんやその視線は国民と逆を向いている。Oh my God!』

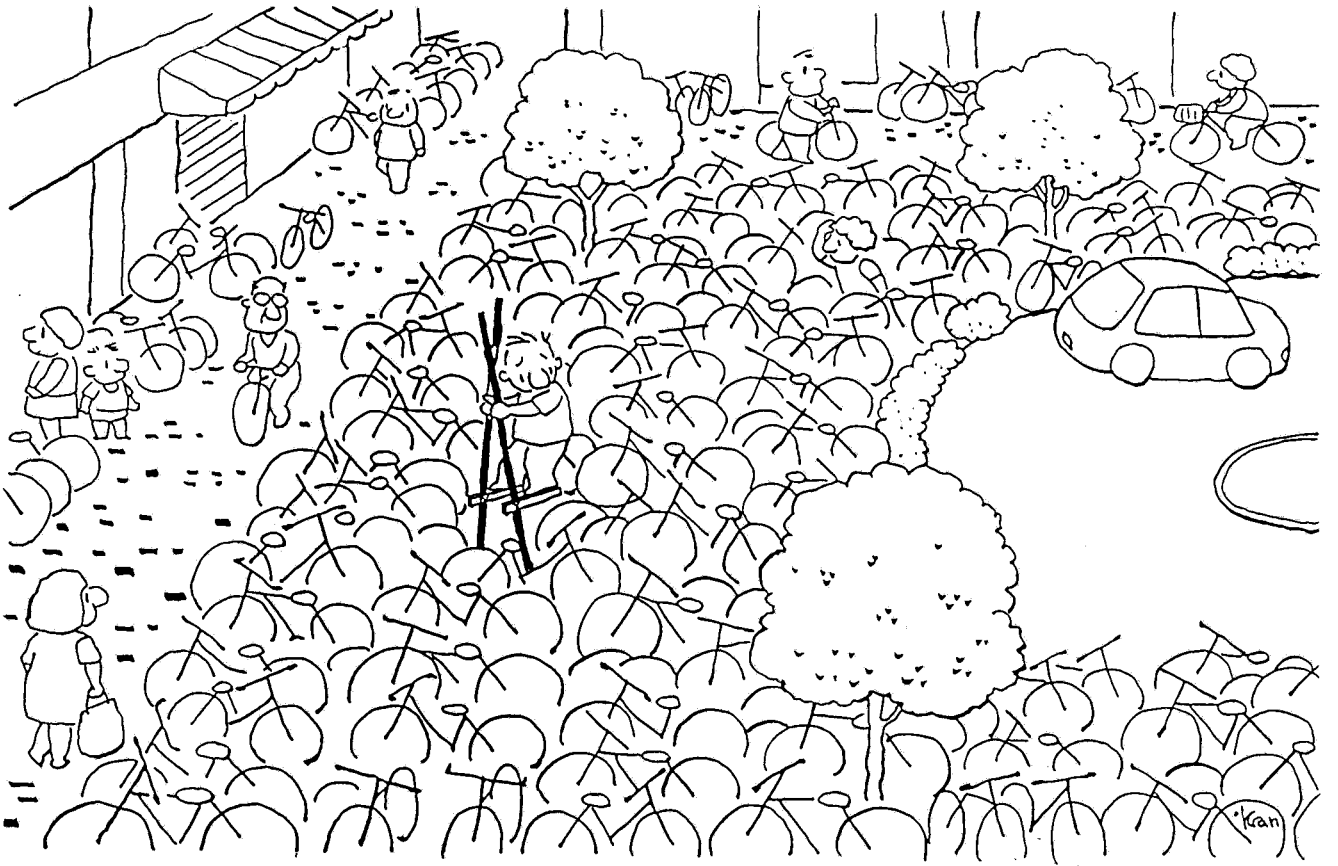
クラインは『人がなにかの事情で、ある苦境におちいったときこそ、ユーモアが必要だ。なぜならユーモアを言うことによって、その物事を客観的かつ冷静に見つめることができるようになる。』と言っています。

インタビュアーや記者会見での質問にいちいち『!』としているあの態度実に情けない。ジョークのひとつも言えんのかい。お国大事と唱えればなんでも免責されると勘違いをしているのではなからうか。国民感情には馬耳東風。剣道をしているだけに、やるこたあすり足、なんにもしない(竹刀)。どう(胴)も(て)(小手)てにま

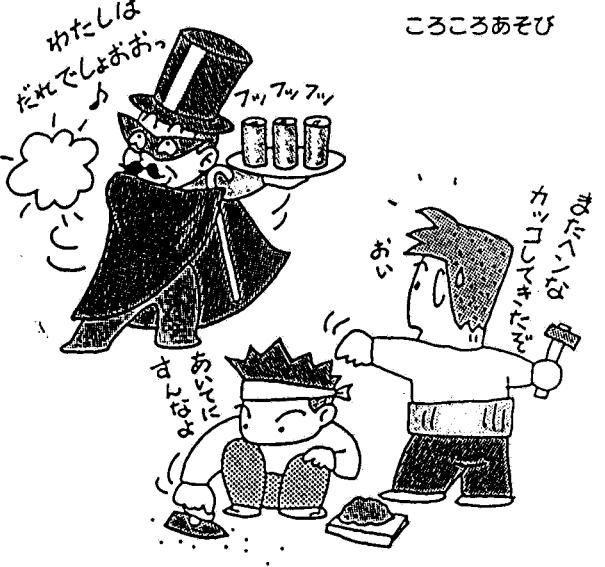


おかいものごっこ

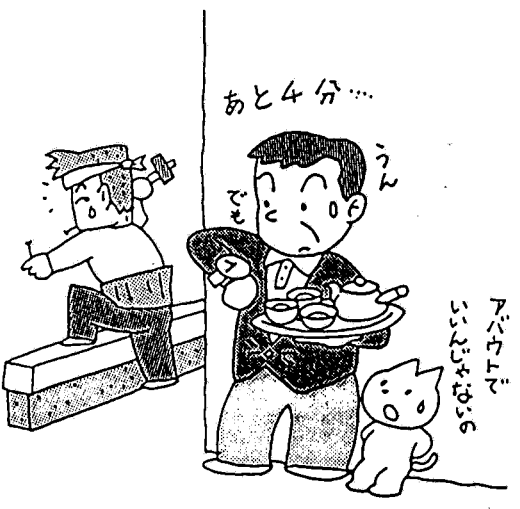
わるんじゃ困るんだよね。冗談(上段)抜きで、諸問題にめん(面)と向かって『二で『一本!』といつももらいたいけど、まあ無理だね。ふんつとも!。(K)



「自転車どこに停めたっけなー」'97 第6回 那須良輔 風刺漫画大賞 優秀賞



お茶の時間2



お茶の時間1

インキュベーターもやっています

●インキュベーターとは卵などの「ふ化器」のこと。転じて、アイデアをカタチにする創造集団のこと。

■主な発想解化支援活動歴

- 1995年>●「おもしろグッズ発案バトル」開戦
 - 「公募」他流試合・奮戦
- 1996年>●情報発信インキュベーター機関誌「あ・そりゃそりゃ」創刊
 - 「おもしろグッズ発案バトル」100選・発表
 - 群馬県・奥利根/たぐみの里「さんしょうの家」店舗企画・構成出店支援
 - 宮崎県・遠見半島/リラクゼーションパーク企画・基本計画支援
- 1997年>●中野区内特別養護老人ホームにて「高齢者とバリアフリー」講演実施
 - 田無市緑町3丁目集会所にて「お年寄りとバリアフリー住宅」講演実施
 - 情報発信カタログ「快護住宅のススメ」発行・配布
 - 中野区民まつり「特養ホーム静風園・園風景イラスト展」企画制作支援
- 1998年>●バリアフリー住宅相談所「アンテナショップ」開設
 - デジカメ「田無の市井人・アートビジュアル」展・企画制作中
 - 中野区民まつり「特養ホーム静風園・入所者50人展」企画制作支援中

テーマ「道」 第7回 オホーツク国際MAN画大賞 入選

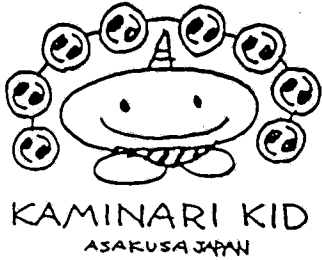
キャラクターコーナー



とらちゃん



屋久島のアカコッコ



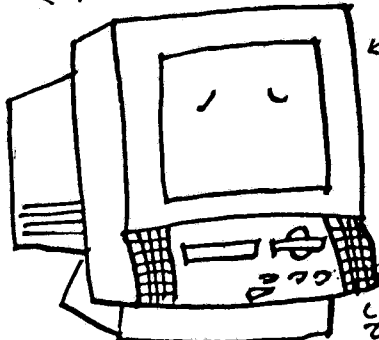
KAMINARI KID
ASAKUSA JAPAN



たくみの里のすっちゃ



くろマツのリーさん



811名127x-マ5440

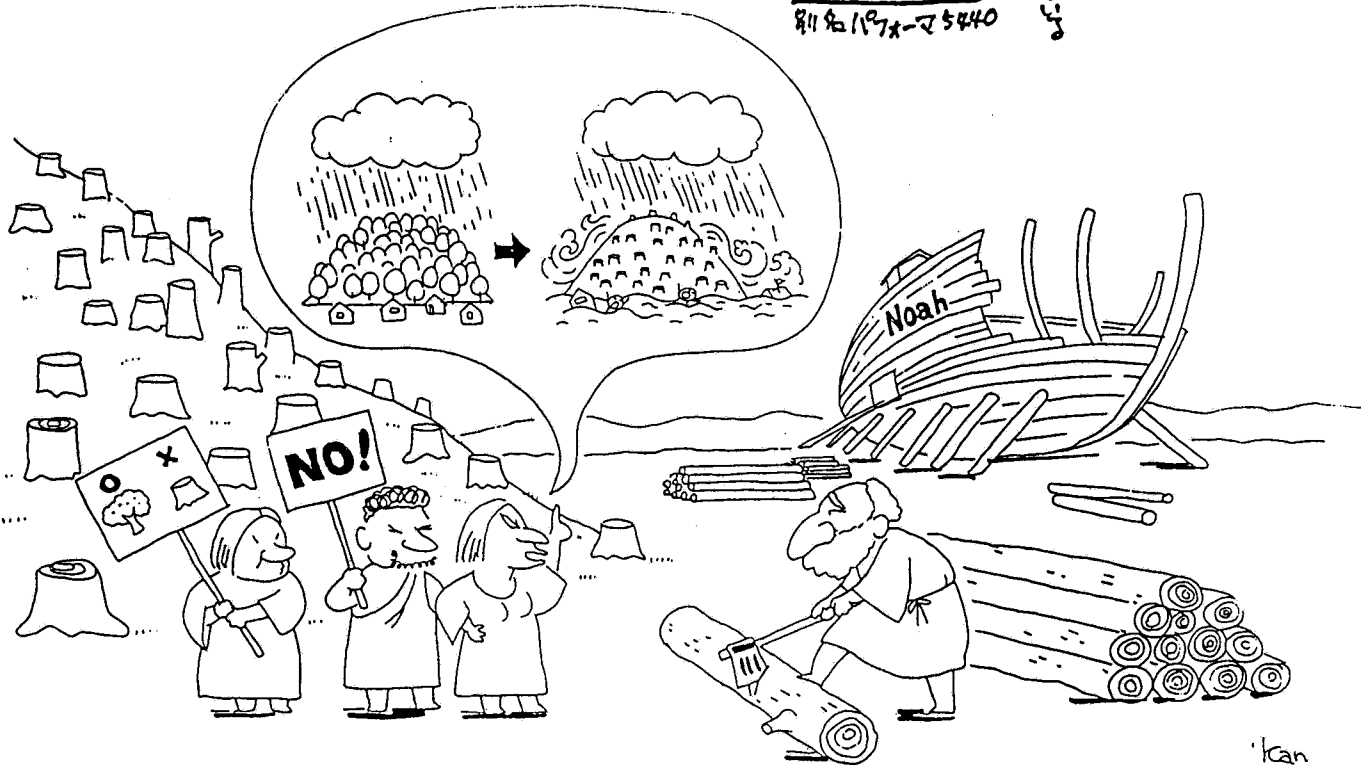
金はがま、毎日使っている。

マックはエライのがー
なのかわからん

わが社には、東南アジア(シンガポール)から出かせぎ(?)にきている「マックくん」が2人いる。いや、2台というべきか……?ともかく、ひとりにはくろマツのリーさん。もうひとり、ふるマツのウェイさんという。ウェイさんはずっとリーさんの「助(じょ)マック」として印刷の専門に手伝ってきたが、つい先日修行の成果もあつてか「ばわーびーしー」の資格を取って「正マック」として独立したのだ。リーさんとウェイさんはNIPという機械と「あつぷるとーく」という通信手段で連絡を取っている。でも彼らは進んで仕事をしよう

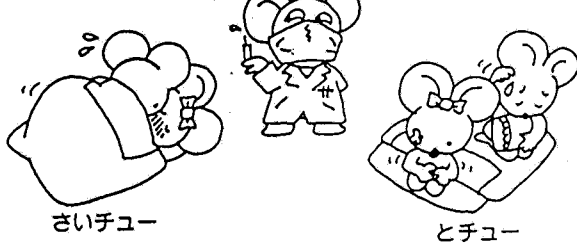
としない。どうしてなんだろう。わが社へきたばかりの頃は、「遊びはもちろん、仕事でも趣味でもなんでもござれ」というふれこみだったはずではなかったか? 難しい仕事をバシバシこなしてバラ色の世界を与えてくれるハズではなかったのか! 文句を言わずに何時でもつきあってくれるのはいいが、ちよつと間違った作業を指示すると、エラそうに声高に指摘をするくせに、

常につききりでない仕事はしない。せつかく苦労して作ったデータも、平気でどこか奥のほうに置き忘れてしまう。ちよつと気に入らない作業をさせると、とたんに超スローモーションで抵抗する……。極めつけは、単純な作業だからと思つて任せておいても、ちよつと目を離すと、とまっ・てゐる! おかげで私の作業が、以前よりずーっとずーっと増えてしまったような気がする。(N)



「無題」

チューシリーズ



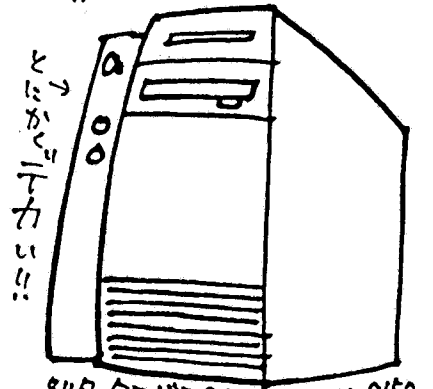
さいチュー

とチュー

たこいかとびうお



ふるマツのウェイさん



811名127x-マ5440 改め PM9150



「ちよつと ちよつと! こころもつけなきゃ!」

